

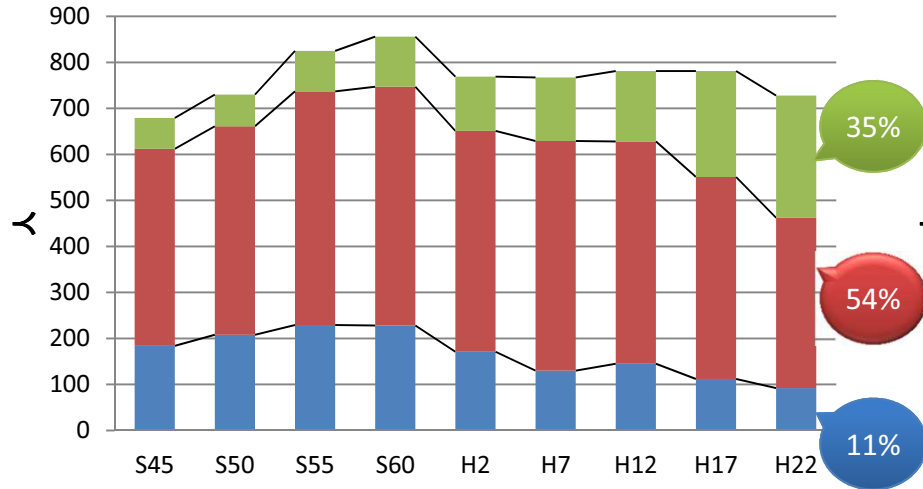
船坂の今とこれから

2014年7月5日(土) 19:00~21:00
船坂公会堂

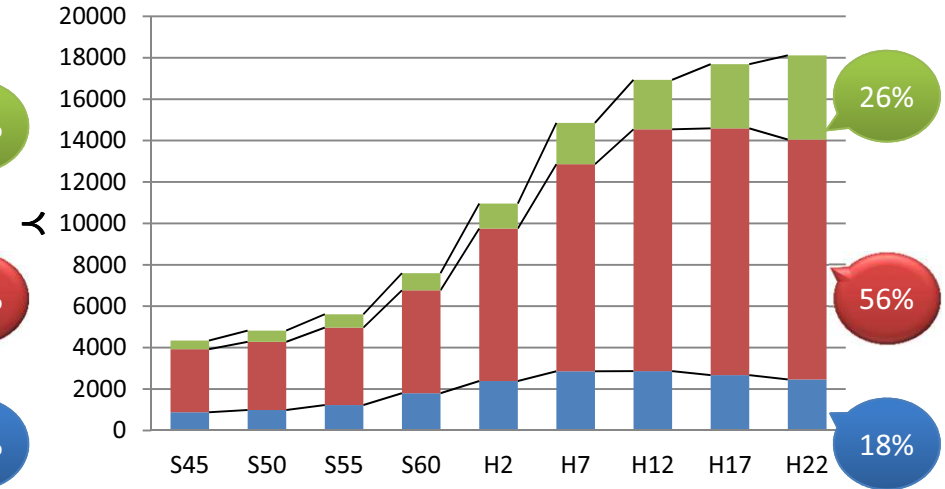
人口推移の比較

(国勢調査結果より)

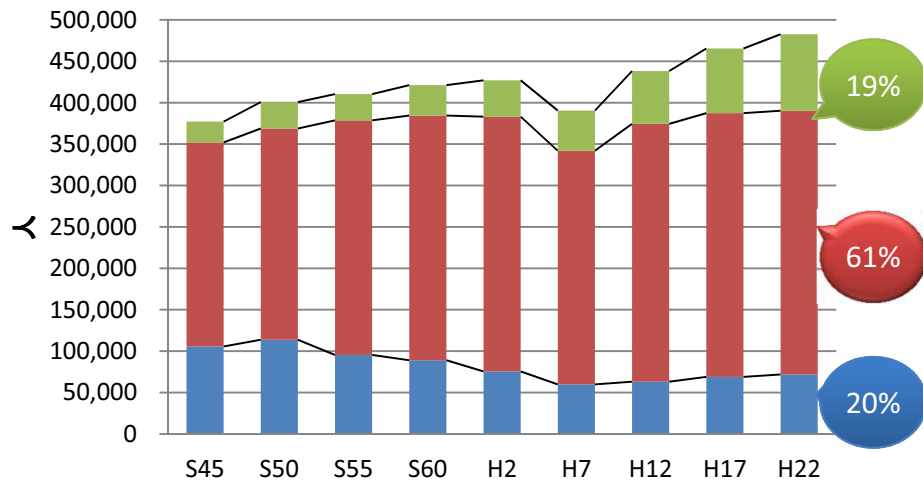
船坂



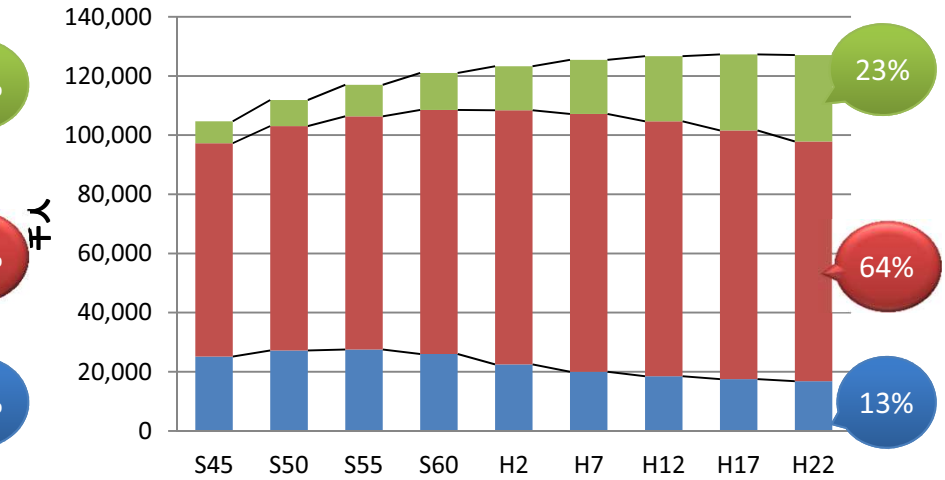
山口町



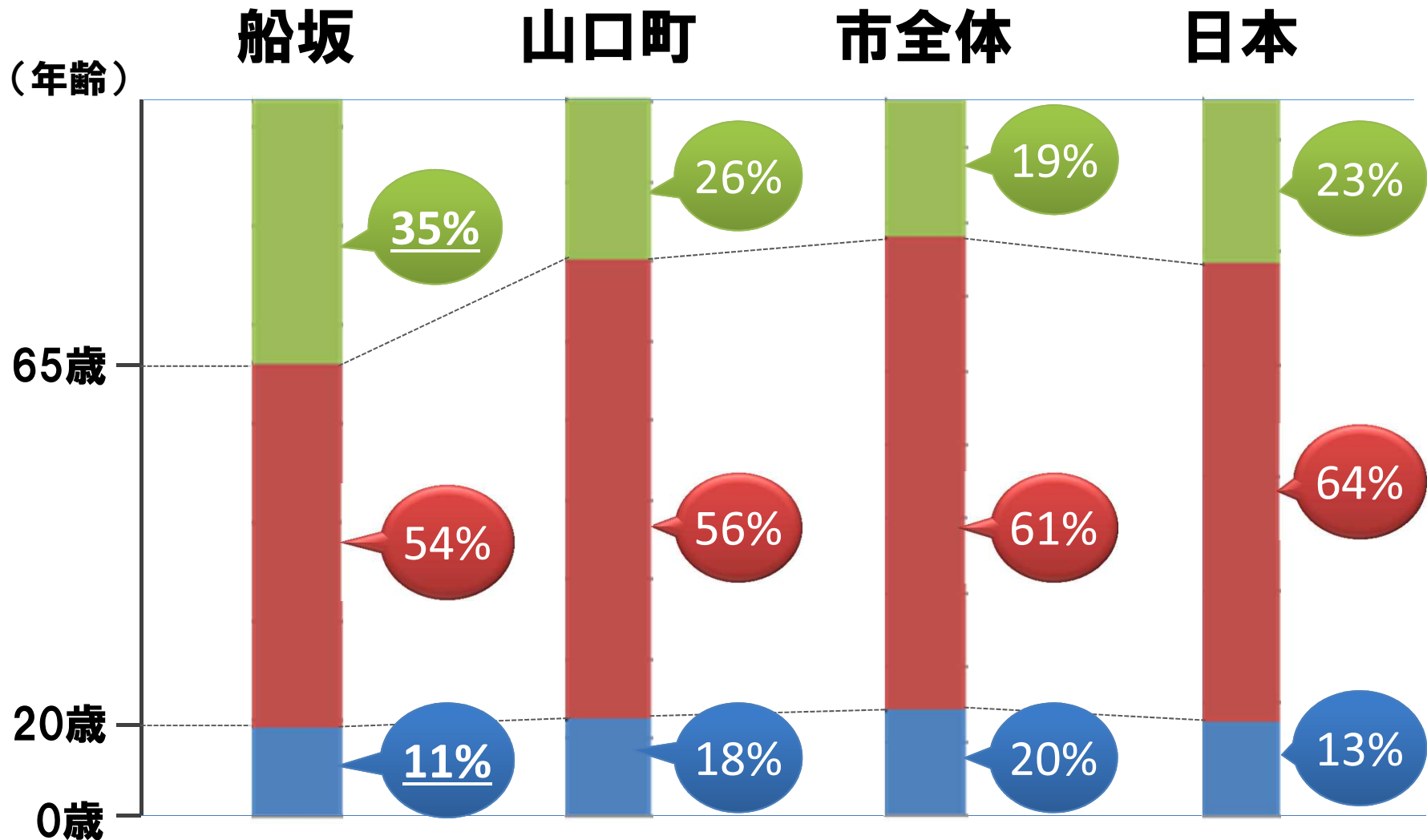
西宮市



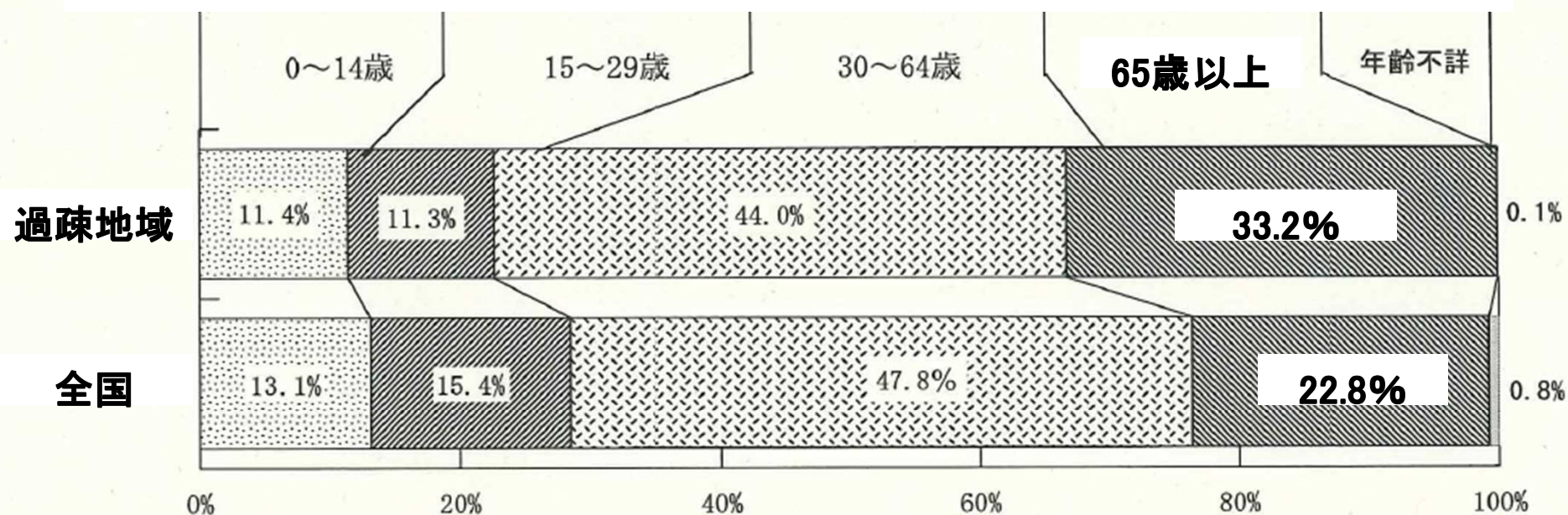
日本



H22国勢調査における人口構成の比較



過疎地域及び全国の年齢階層別人口構成



- (備考) 1 国勢調査による
2 過疎地域は、平成24年4月1日現在

過疎地域：人口が大きく減少しており、なおかつ高齢者比率が高い
または若年者比率が低い地域（≠船坂）

限界集落って？

名称	定義	内容
存続集落	55歳未満、 人口比50%以上	跡継ぎが確保されており、共同体の機能を次世代に受け継いでいける状態。
準限界集落	<u>55歳以上、 人口比50%以上</u>	現在は共同体の機能を維持しているが、跡継ぎの確保が難しくなっており、限界集落の予備軍となっている状態。
限界集落	<u>65歳以上、 人口比50%以上</u>	高齢化が進み、 <u>共同体の機能維持が限界に達している状態。</u>
超限界集落	特になし	特に定義はないが、限界集落の状態を超え、消滅集落への移行が始まっている状態。
消滅集落	人口ゼロ	かつて住民が存在したが、完全に無住の地となり、文字どおり、集落が消滅した状態。

限界集落って？

★社会的共同生活の維持が困難な集落

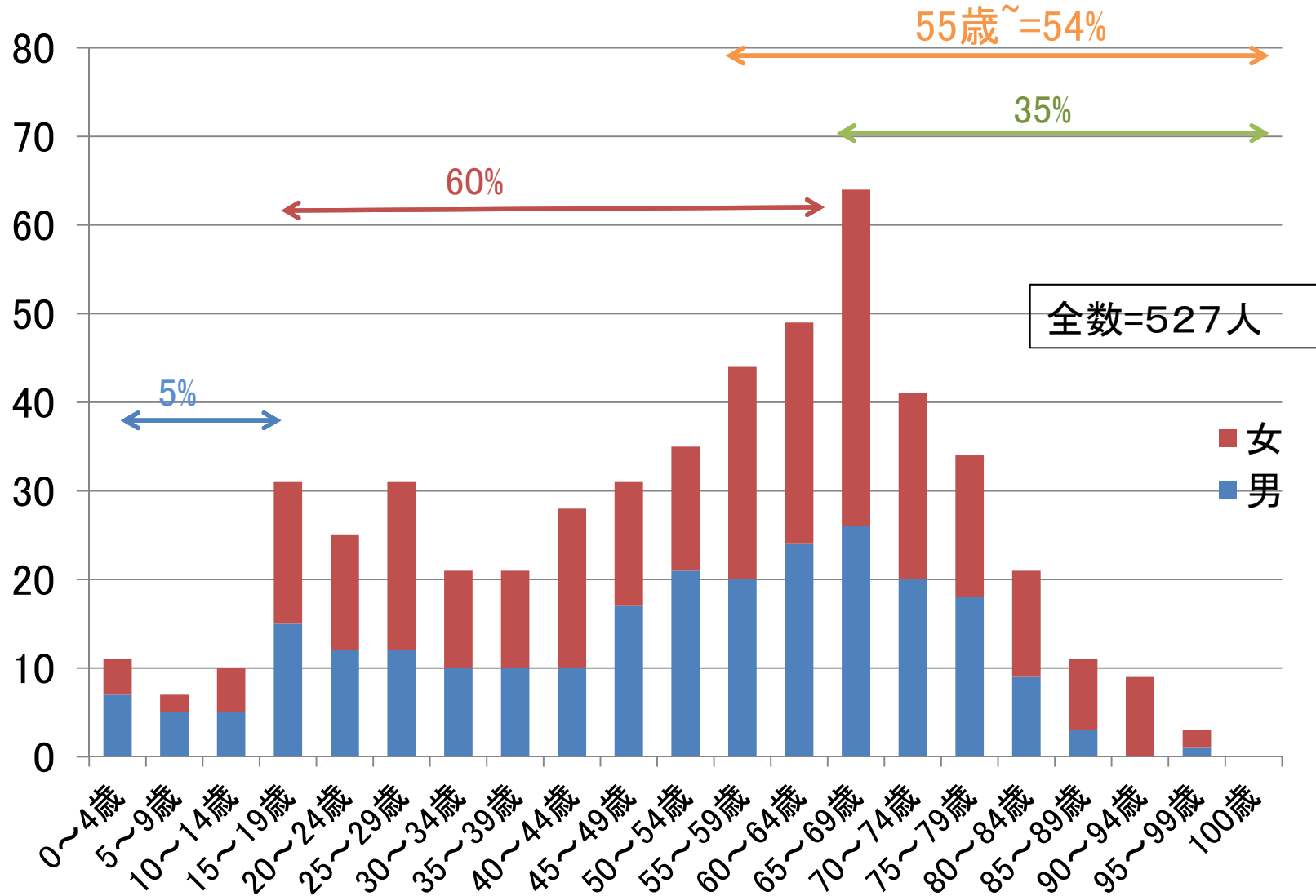
《発生するであろう問題》

- 共同作業：道路や水路、神社の清掃・管理等
一定の労働を伴う作業の維持ができない
- 空き家の増加：老朽化に伴う環境の悪化、不法
投棄、治安の悪化など
- イベント：伝統芸能、祭りの維持ができない
- 農地：耕作放棄地、荒地の出現

船坂の年齢別人口

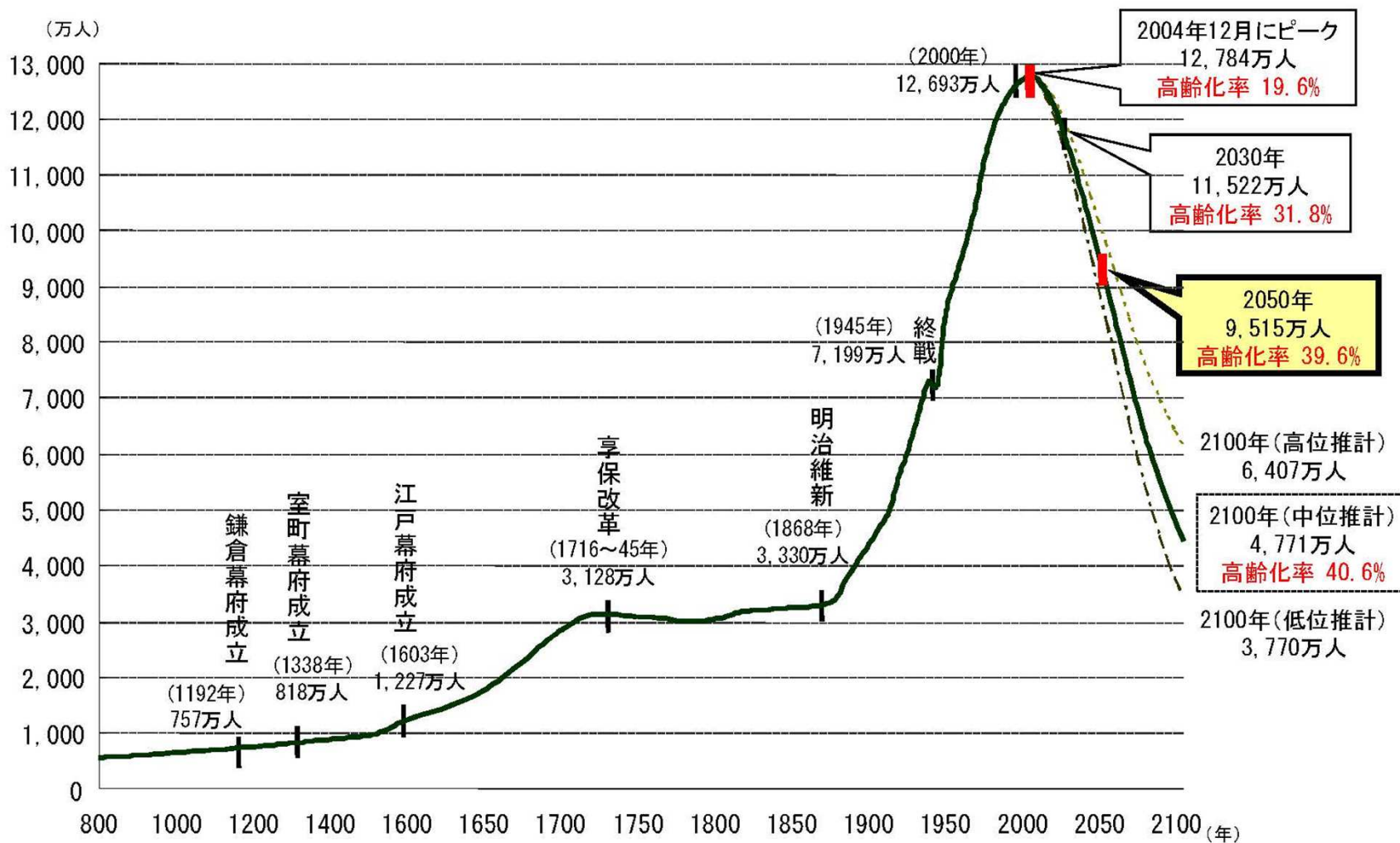
(2010国勢調査結果より一部施設等を除く)

準限界
集落



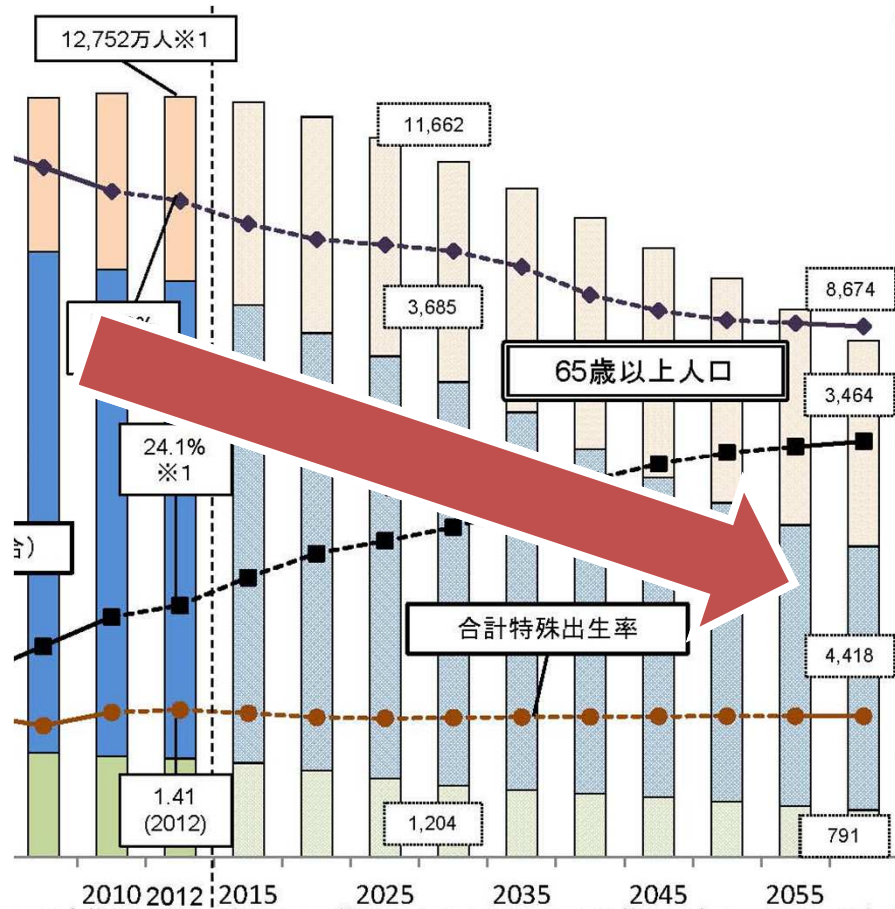
【図 I -1】我が国の人口は長期的には急減する局面に

○日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前(明治時代後半)の水準に戻っていく。この変化は千年単位でも類を見ない、極めて急激な減少。



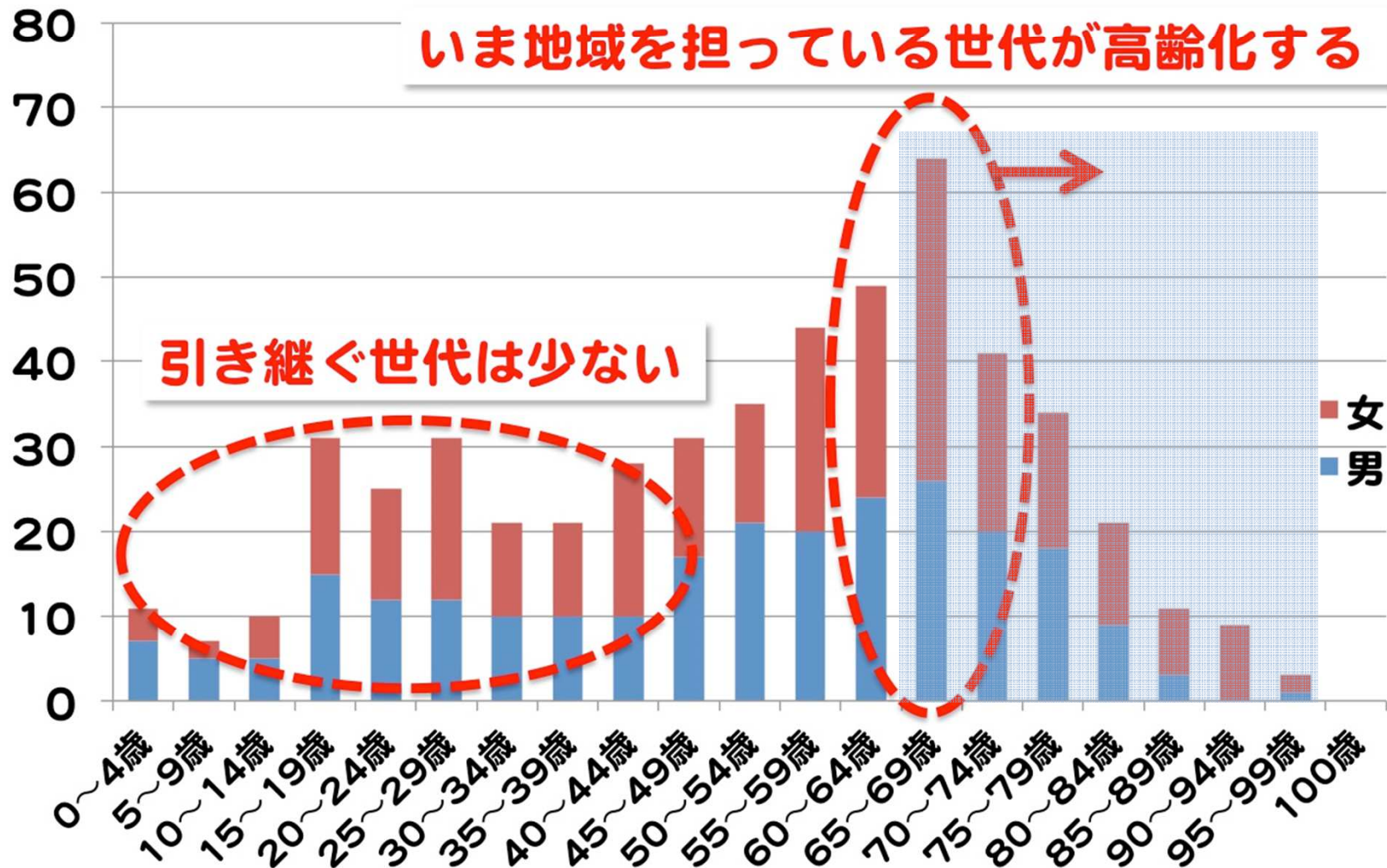
(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成

これから(人口減)



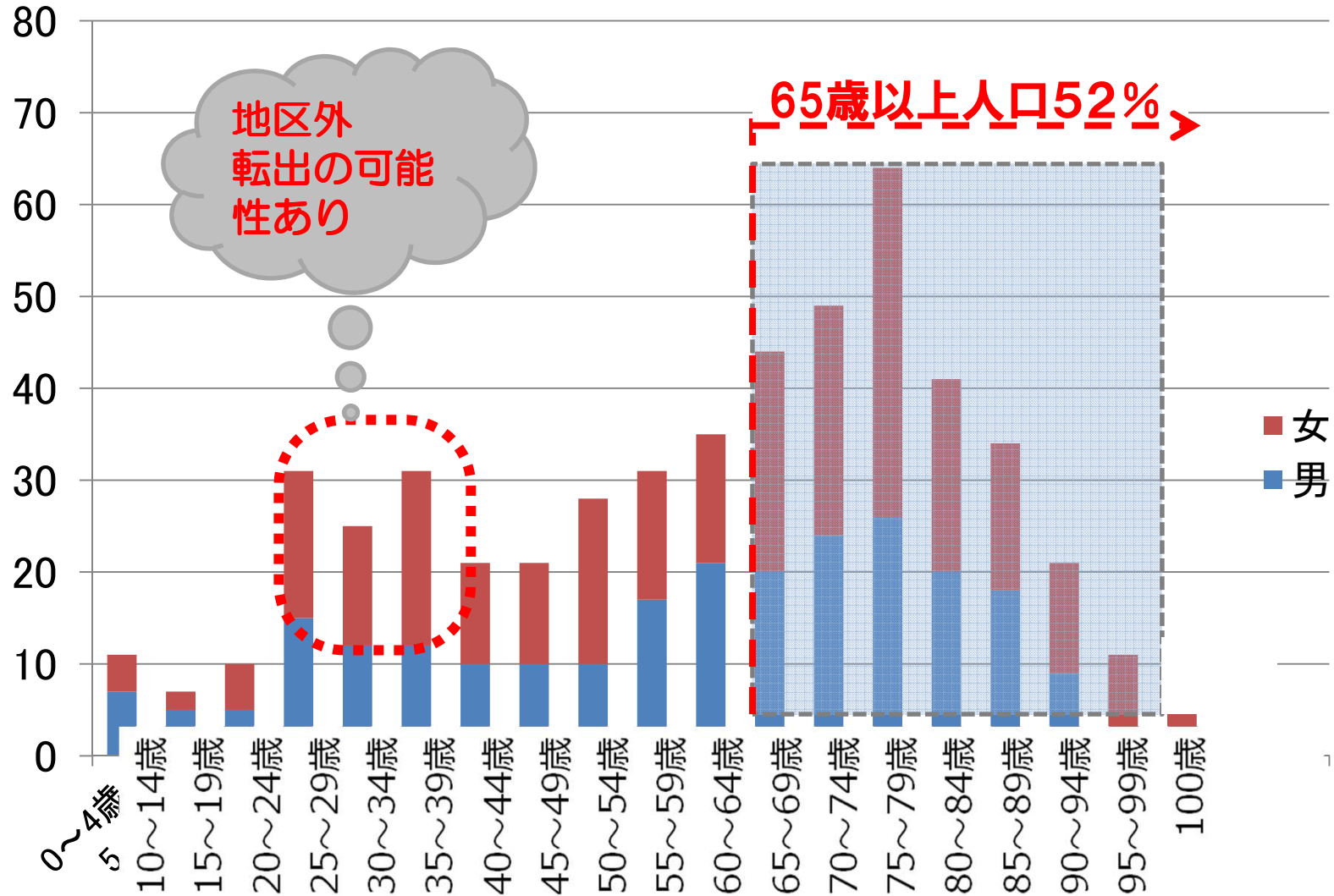
- 亡くなる人が増える
- 相続が増える
- 土地・建物が余る
- さらに、
- 若い世代が減る
- これまでのサービスが成り立たなくなる

船坂のこれから 地域の担い手がなくなる



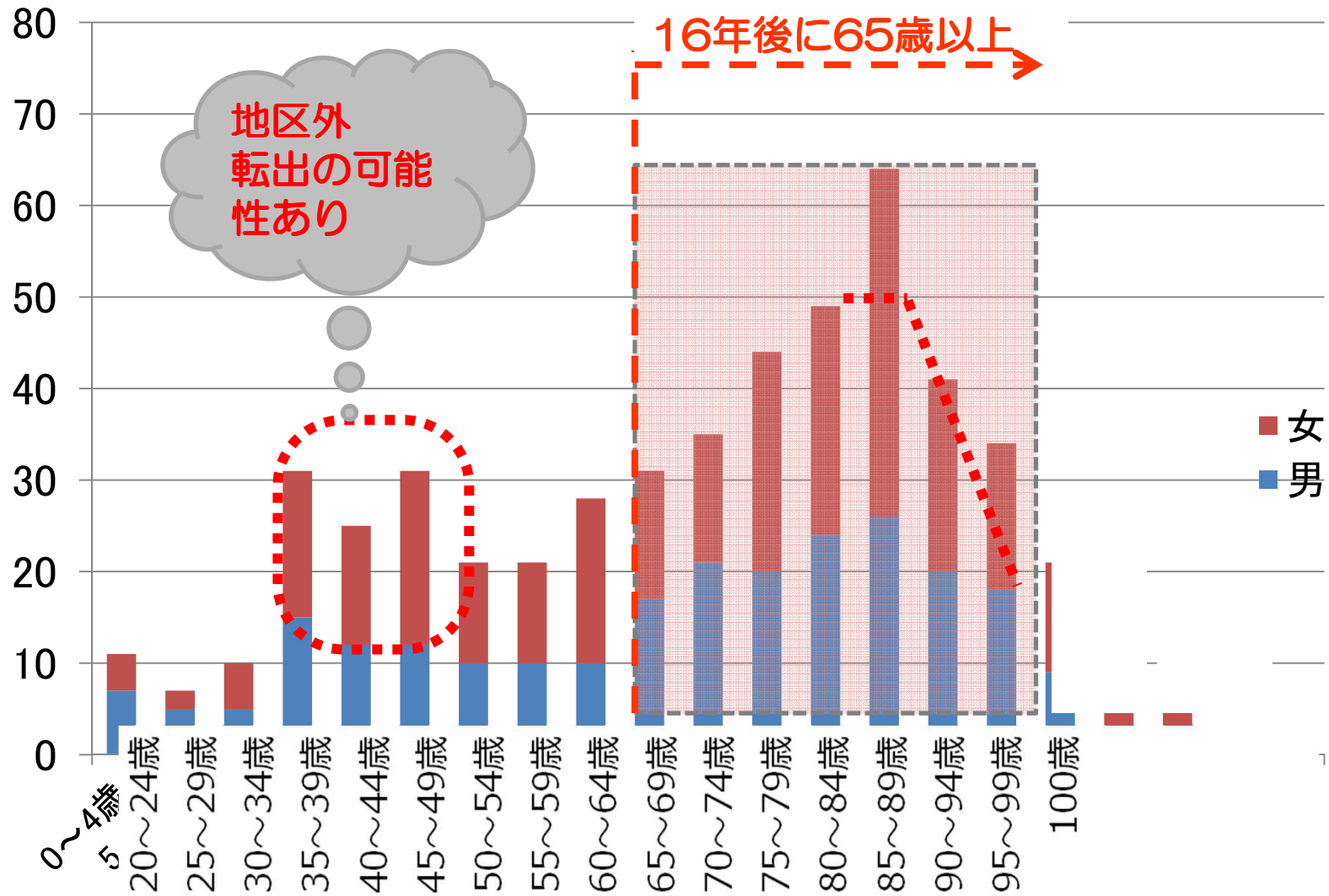
船坂のこれから

2020年(6年後)は？



船坂のこれから

2030年(16年後)は？



限界集落って？

★社会的共同生活の維持が困難な集落

《発生するであろう問題》

- 共同作業：道路や水路、神社の清掃・管理等
一定の労働を伴う作業の維持ができない
- 空き家の増加：老朽化に伴う環境の悪化、不法
投棄、治安の悪化など
- イベント：伝統芸能、祭りの維持ができない
- 農地：耕作放棄地、荒地の出現

でもホントのところはどうなのだろう？
統計データだけで集落の持続性がわかる？